

# 2020年度事業計画書

特定非営利活動法人 兵庫介助犬協会

## 1 事業実施の方針

本年は新型コロナウイルス感染症への対策を行いながら、使用者からの不安や要望に対してもケースに合わせて対応して介助犬育成・無償貸与事業を継続する。介助犬希望者に対する積極的な情報提供を行い、新たに介助犬を貸与できるよう努める。今後はイベント等の人が密集した状況での広報活動がしづらくなることが予測されるため、SNS等を活用した介助犬普及啓発事業に力を入れ、引き続き肢体不自由者への広報活動も行い、さらに介助犬が活躍しやすい環境になるよう多方面への啓発を行なう。

## II 事業の実施に関する事項

### 特定非営利活動に係る事業

#### 1、介助犬育成と無償貸与事業

##### (1) 肢体不自由者への介助犬の貸与

介助犬使用希望者の面談や評価、合同訓練、認定、介助犬の貸与を実施する。

2020年度の介助犬貸与予定頭数 2頭

##### (2) 介助犬使用者への継続指導

当会から介助犬の貸与を受けている8名の介助犬使用者に対して、引き続きメールや書面による現状の確認や、必要に応じて自宅等を訪問した上で状況の確認を行なう。

- ・使用者の自宅等の訪問による継続指導の実施
- ・当会への来訪等による現状の確認やケアの実施
- ・メールや書面による現状の確認や相談への対応

##### (3) 介助犬育成と訓練

新規候補犬として子犬を導入し、パピーウォーカーボランティアに対して飼育委託を行なう。

- ・2019年度末からの繰越パピー 4頭
- ・2020年度の新規委託開始見込み 8頭

介助犬の候補犬に対して訓練を実施する。

- ・2019年度末からの繰越訓練犬 8頭
- ・2020年度にパピー委託先からの新規入所見込み 4頭
- ・他協会等から候補犬として入所見込み 2頭

介助犬の適性に満たない犬についてはキャリアチェンジを実施する。

- ・当会ボランティアへの譲渡見込み 4頭
- ・他協会への里帰り見込み 0頭
- ・PR犬へのキャリアチェンジ見込み 1頭

介助犬の認定・訓練継続について

- ・介助犬認定見込み 2頭
- ・次年度開始時の訓練犬見込み 7頭

引退犬の譲渡と引退犬里親ボランティアに対するサポートを実施する。

- ・2019年度末までに引退していた犬 4頭
- ・今年度の引退犬見込み頭数 2頭

##### (4) 繁殖導入の準備と情報収集

ここ数年は候補犬として新しく導入する子犬の頭数が低下しているため、将来的に当会独自で繁殖・出産させることを検討し、その準備と情報収集に取り掛かる。

(5) その他の日常業務

- ・犬舎管理
- ・候補犬やPR犬の洗体、医務管理、衛生管理
- ・職員研修の実施、学会や各種研修会への参加
- ・アルト基金（犬医療費基金）の街頭募金の実施（5月・11月）

2、介助犬普及啓発事業

(1) イベント参加、講習、介助犬デモンストレーション等

PR犬を連れて介助犬の動作を見て頂き、対象に合わせて理解を広める活動を実施する。

保育園、小学校、中学校、高校、専門学校、大学

地域のイベント協力、動物愛護フェスティバル

福祉関連展示会（介護フェア、健康フェスティバル、人権フェスティバル等）

商業施設（阪急うめだ本店等）

ペット関連企業展示会（ペット王国、ペット博）

実施見込み回数 計85回（兵庫60回、千葉25回）

(2) 介助犬普及啓発街頭活動

PR犬を連れて実際に見て触れ合ってもらい、肢体不自由者と介助犬への理解を深め、介助犬育成が皆様の寄付で成り立っていることを認知してもらい、募金を行う街頭活動を実施する。

神戸元町商店街入口付近、川西能勢口駅前、宝塚駅前、三宮駅前、仁川駅前

船橋駅前、海浜幕張駅前、行徳駅前、千葉駅前

実施見込み回数 計380回（兵庫200回、千葉180回）

(3) しつけ相談・助言

犬文化の向上による介助犬が活躍しやすい環境を目指し、当会から譲渡したキャリアチェンジ犬や一般家庭犬に対して、しつけの相談助言・訓練を実施する。

キャリアチェンジ犬・引退犬譲渡前講習とトレーニング、グループ講習

当会出身犬の一時預かり・しつけ相談・助言・訓練、一般家庭犬しつけ相談・助言

実施見込み回数 計45回

(4) 会報誌、各種資料、パンフレットの作成と配布

会報誌「ハッピー通信」を年4回、1回につき約600部を発送し、各啓発活動実施先で資料を配布する見込みである。

兵庫介助犬協会パンフレット

パピーウォーカー募集チラシ、賛助会員募集チラシ、ボランティア募集チラシ

クリアファイル・缶バッジ、介助犬希望者向け冊子、各種啓発DVD等

以上